

○ 水質測定結果

地点		令和元年度6月調査													
		緯度	経度	pH	BOD (mg/L)	COD (mg/L)	DO (mg/L)	電気伝導率 (mS/m)	塩分	TOC (mg/L)	SS (mg/L)	濁度 (度)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	Sr-90 (Bq/L)
阿武隈川水系	A-1(表層)	37.6210°	140.5218°	7.3	1.4	5.6	8.7	18.3	0.09	2.7	12	5.3	0.0028	0.053	0.0012
	A-1(下層)	37.6210°	140.5218°	7.4	1.5	5.1	8.9	18.4	0.09	2.7	14	6.5	0.0035	0.052	—
	A-2	37.5673°	140.3946°	7.3	0.9	4.1	9.8	12.1	0.06	1.4	6	2.8	0.0016	0.020	—
	B-2	37.8121°	140.5058°	7.4	1.2	5.4	9.3	16.9	0.09	2.4	11	5.5	0.0023	0.027	—
	B-3	37.8182°	140.4679°	7.3	0.8	3.3	10.1	8.0	0.04	1.2	4	2.3	N.D. (0.0016)	0.0095	—
宇多川	C-6	37.7764°	140.8877°	7.1	1.6	3.6	8.0	12.9	0.07	1.5	4	3.6	N.D. (0.0013)	0.019	0.0011
真野川	D-4 a	37.7308°	140.9081°	8.6	0.8	3.2	14.5	13.3	0.07	1.1	1	1.5	N.D. (0.0011)	0.012	0.00091
新田川	E-2 a	37.6640°	140.9447°	6.9	1.1	4.1	10.1	10.6	0.06	1.4	10	9.9	0.0065	0.078	0.0022
太田川	F-1	37.5975°	140.9252°	7.7	0.8	3.5	9.3	7.1	0.04	1.1	1	1.2	0.019	0.24	0.0047
はやま湖 (真野ダム)	G-1(表層)	37.7310°	140.8121°	7.2	1.0	5.4	9.1	8.8	0.05	1.7	4	5.0	0.0077	0.088	—
	G-1(下層)	37.7310°	140.8121°	7.2	0.8	5.6	8.2	9.1	0.05	1.8	5	5.4	0.0065	0.085	0.0014
	G-4	37.7382°	140.8035°	7.6	<0.5	2.5	9.5	9.2	0.05	1.1	1	0.8	0.0016	0.019	—
秋元湖	H-1(表層)	37.6575°	140.1264°	7.2	0.6	3.4	9.3	3.9	0.03	1.4	<1	1.1	N.D. (0.0015)	0.0039	—
	H-1(下層)	37.6575°	140.1264°	6.9	0.6	3.5	10.3	4.0	0.03	1.9	1	1.3	N.D. (0.0018)	0.0095	0.0012
猪苗代湖	J-1(表層)	37.4203°	140.1008°	6.8	<0.5	1.4	9.9	11.8	0.06	0.6	<1	0.6	N.D. (0.0014)	0.0054	—
	J-1(下層)	37.4203°	140.1008°	6.8	0.6	1.7	9.9	11.9	0.06	0.8	2	0.8	N.D. (0.0016)	0.0065	0.00094
阿武隈川河口沖 (阿武隈川河口前面海域)	K-3(表層)	38.0458°	140.9518°	8.1	<0.5	4.2	8.4	2500	18.56	1.8	5	3.8	N.D. (0.0014)	0.0090	—
	K-3(下層)	38.0458°	140.9518°	8.0	<0.5	2.0	8.4	4910	33.46	1.1	6	5.5	N.D. (0.0015)	0.0092	0.0010
相馬市沖 (松川浦)	L-2	37.8155°	140.9763°	8.1	0.7	4.6	8.7	4290	28.31	2.1	17	8.2	N.D. (0.0017)	0.030	0.0011
いわき市沖 (久之浜)	M-2(表層)	37.1996°	141.0853°	8.1	0.9	1.5	8.4	5020	33.75	1.2	2	0.8	N.D. (0.0015)	0.0044	—
	M-2(下層)	37.1996°	141.0853°	8.0	0.6	1.2	8.2	5020	33.67	0.9	3	1.0	N.D. (0.0015)	0.0046	0.0012

注) N.D. は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

注) はやま湖(真野ダム) G-1地点は、濁水により約500m下流側へ移動。

○ 底質測定結果

地点				令和元年度6月調査																
	緯度	経度	pH	酸化還元電位 E _{N.H.E} (mV)	含水率 (%)	IL (%)	TOC (mg/g-dry)	土粒子の密度 (g/cm ³)	粒度組成								Cs-134 (Bq/kg-dry)	Cs-137 (Bq/kg-dry)	Sr-90 (Bq/kg-dry)	
									礫 (2~75mm) (%)	粗砂 (0.85~2mm) (%)	中砂 (0.25~0.85mm) (%)	細砂 (0.075~0.25mm) (%)	シルト (0.005~0.075mm) (%)	粘土 (0.005mm未満) (%)	中央粒径 (mm)	最大粒径 (mm)				
阿武隈川水系	A-1	37.6210°	140.5218°	7.2	56	52.5	6.7	18.2	2.665	0.5	1.3	23.4	18.5	28.5	27.8	0.043	4.8	38	490	0.46
	A-2	37.5673°	140.3946°	6.7	278	27.0	2.8	6.9	2.726	22.0	28.5	30.5	6.2	4.9	7.9	0.87	9.5	20	250	—
	B-2	37.8121°	140.5058°	7.1	280	27.0	1.8	2.1	2.713	0.5	4.1	72.5	17.2	0.9	4.8	0.37	4.8	9.2	130	—
	B-3	37.8182°	140.4679°	7.0	263	20.8	2.3	3.9	2.664	29.3	37.0	23.0	6.3	2.3	2.1	1.3	9.5	9.3	140	—
宇多川	C-6	37.7764°	140.8877°	7.5	278	22.8	1.8	2.0	2.692	8.9	43.0	33.7	7.9	2.7	3.8	0.89	4.8	11	140	0.64
真野川	D-4 a	37.7308°	140.9081°	7.4	368	18.4	1.7	2.2	2.708	30.2	48.0	17.5	2.3	2.0		1.4	9.5	22	300	0.65
新田川	E-2 a	37.6640°	140.9447°	7.2	263	63.0	11.4	42.6	2.536	2.4	6.2	9.6	17.1	35.3	29.4	0.029	4.8	490	6500	1.1
太田川	F-1	37.5975°	140.9252°	7.1	242	27.3	2.0	4.2	2.639	5.0	29.4	44.9	10.3	4.9	5.5	0.60	4.8	220	2800	0.76
はやま湖 (真野ダム)	G-1	37.7310°	140.8121°	7.0	92	93.9	16.8	52.5	2.481	0.0	0.0	0.1	2.7	64.0	33.2	0.0098	0.85	710	9500	5.2
	G-4	37.7382°	140.8035°	7.3	276	28.2	3.1	3.1	2.673	9.4	46.3	32.7	4.9	2.6	4.1	0.94	9.5	35	470	—
秋元湖	H-1	37.6575°	140.1264°	6.9	31	66.0	8.9	27.7	2.552	0.0	0.0	0.1	0.4	56.7	42.8	0.0067	4.8	89	1200	1.3
猪苗代湖	J-1	37.4203°	140.1008°	6.6	389	26.8	0.8	1.5	2.791	0.3	0.9	72.3	25.0	1.5		0.31	9.5	0.26	4.6	N.D. (0.13)
阿武隈川河口沖 (阿武隈川河口前面海域)	K-3	38.0458°	140.9518°	7.7	262	55.2	6.5	13.6	2.662	0.0	0.1	0.2	11.1	78.7	9.9	0.030	2.0	21	300	N.D. (0.13)
相馬市沖 (松川浦)	L-2	37.8155°	140.9763°	7.8	285	23.5	0.9	1.2	2.728	0.5	2.7	76.5	18.9	1.4		0.34	4.8	0.45	6.5	N.D. (0.12)
いわき市沖 (久之浜)	M-2	37.1996°	141.0853°	7.8	298	25.8	1.8	1.7	2.764	1.3	1.3	3.9	88.9	1.1	3.5	0.16	4.8	1.7	21	N.D. (0.13)

注) N.D. は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

注) はやま湖(真野ダム) G-1地点は、濁水により約500m下流側へ移動。

○ 生物測定結果

地点	採取場所	採取日	門	綱	目	科	学名	和名	個体数	採取重量 (kg-wet)	特記事項			放射性セシウム (Bq/kg-wet)			Sr-90 (Bq/kg-wet)	
											成長段階	消化管内容物	測定部位	計	Cs-134	Cs-137		
阿武隈川	A-1	阿武隈川本流	R1. 5. 31	節足動物	昆虫	カゲロウ	チラカゲロウ	<i>Isonychia valida</i>	チラカゲロウ	124	0. 014	幼虫	—	—	41. 5	3. 5	38	—
				節足動物	昆虫	トンボ	エゾトンボ	<i>Macromia amphigena amphigena</i>	コヤマトンボ	33	0. 016	幼虫 (ヤゴ)	—	—	4. 8	N. D. (1. 9)	4. 8	—
				節足動物	昆虫	トンボ	オニヤンマ	<i>Anotogaster sieboldii</i>	オニヤンマ									
				節足動物	昆虫	トンボ	サナエトンボ	<i>Melligomphus viridicostus</i>	オナガサナエ									
				節足動物	昆虫	トンボ	サナエトンボ	<i>Sieboldius albardae</i>	コオニヤンマ									
				節足動物	昆虫	トンボ	サナエトンボ	<i>Asiagomphus melaenops</i>	ヤマサナエ									
				節足動物	昆虫	トンボ	ヤンマ	<i>Anax parthenope julius</i>	ギンヤンマ									
				節足動物	昆虫	トンボ	ヤンマ	<i>Boyeria maclachlani</i>	コシボソヤンマ									
			節足動物	軟甲	エビ	アメリカザリガニ	<i>Procambarus clarkii</i>	アメリカザリガニ	3	0. 032	未成体/成体	—	—	5. 7	N. D. (1. 6)	5. 7	—	
			節足動物	軟甲	エビ	ヌマエビ	<i>Neocaridina sp.</i>	カワリヌマエビ属	408	0. 072	未成体/成体	—	—	25. 8	1. 8	24	—	
			脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Tribolodon hakonensis</i>	ウグイ	3	0. 018	未成魚	—	—	11	N. D. (2. 3)	11	—	
			脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Opsariichthys platypus</i>	オイカワ	4	0. 033	未成魚/成魚	—	—	9. 5	N. D. (1. 5)	9. 5	—	
			R1. 6. 1	脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Carassius auratus</i>	ギンプナ	4	1. 5	成魚	—	—	3. 78	0. 38	3. 4	0. 32
			R1. 5. 31	脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Gnathopogon elongatus elongatus</i>	タモロコ	81	0. 23	未成魚/成魚	—	—	3. 0	N. D. (0. 33)	3. 0	—
				脊椎動物	硬骨魚	コイ	ドジョウ	<i>Misgurnus anguillicaudatus</i>	ドジョウ	4	0. 033	成魚	—	—	2. 2	N. D. (1. 4)	2. 2	—
				脊椎動物	硬骨魚	コイ	ドジョウ	<i>Nemacheilus toni</i>	フクドジョウ	38	0. 35	未成魚	—	—	2. 4	N. D. (0. 25)	2. 4	—
			R1. 6. 1	脊椎動物	硬骨魚	スズキ	サンフィッシュ	<i>Micropterus dolomieu</i>	コクチバス	3	1. 8	未成魚/成魚	アメリカザリガニ、タモロコ	内臓除去	9. 58	0. 68	8. 9	0. 24
				脊椎動物	硬骨魚	ナマス	アメリカナマス	<i>Ictalurus punctatus</i>	アメリカナマス	4	2. 3	未成魚	アメリカザリガニ、哺乳類、陸上昆虫類、ヒメトリス科、ヒラタトリス科	内臓除去	18. 0	1. 0	17	0. 23
			R1. 5. 31	脊椎動物	両生	無尾	—	—	カエル類	57	0. 027	幼生 (オタマジャクシ)	—	—	358	28	330	—
				脊椎動物	両生	無尾	アカガエル	<i>Rana japonica</i>	ニホンアカガエル	16	0. 059	成体	—	—	29. 5	2. 5	27	—
脊椎動物	両生	無尾		アマガエル	<i>Hyla japonica</i>	ニホンアマガエル												
脊椎動物	両生	無尾		ツチガエル	<i>Glandirana rugosa</i>	ツチガエル												

※1：生物は、当該調査水域またはその周辺で採取したものである。

※2：水生生物を複数採取できた場合は、これらを混合して試料とした。

※3：複数種の混合試料においては、最も多く採取できた優占種を、和名に下線で示した。

※4：生物試料は、全個体を測定することを原則とするが、消化器系に残留した未消化の餌料や底泥等は測定しないよう、内臓（胃、腸）の除去が可能な試料については、除去して測定した。

※5：プランクトン（浮遊藻類）とは、湖沼水または海水を40μmのプランクトンネットで漉した残留物を指す。

※6：河床付着物（藻類を含む）とは、石に付着した藻類をブラシ等で掻き落としたものであるが、無機態のシルト・粘土等の微細粒子が含まれることがある。

※7：N. D. は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

※8：放射性物質濃度の数値には計数誤差等が含まれているが、本報においては記載していない。

地点	採取場所	採取日	門	綱	目	科	学名	和名	個体数	採取重量 (kg-wet)	特記事項			放射性セシウム (Bq/kg-wet)			Sr-90 (Bq/kg-wet)		
											成長段階	消化管内容物	測定部位	計	Cs-134	Cs-137			
阿武隈川	A-2	原瀬川	R1. 5. 31	藻類・植物	—	—	—	河床付着物 (藻類を含む)	—	0.0099	—	—	—	70.4	5.4	65	—		
				節足動物	昆虫	トビケラ	ヒゲナガカワトビケラ	<i>Stenopsyche marmorata</i>	ヒゲナガカワトビケラ	120	0.048	幼虫	—	—	—	28.2	2.2	26	—
				節足動物	昆虫	トンボ	エゾトンボ	<i>Macromia amphigena amphigena</i>	コヤマトンボ	69	0.062	幼虫 (ヤゴ)	—	—	—	6.1	N. D. (1. 2)	6.1	—
				節足動物	昆虫	トンボ	オニヤンマ	<i>Anotogaster sieboldii</i>	オニヤンマ										
				節足動物	昆虫	トンボ	サエトンボ	<i>Melligomphus viridicostus</i>	オナガサナエ										
				節足動物	昆虫	トンボ	サエトンボ	<i>Sieboldius albardae</i>	コオニヤンマ										
				節足動物	昆虫	トンボ	サエトンボ	<i>Asiagomphus melaenops</i>	ヤマサナエ										
				節足動物	軟甲	エビ	アメリカザリガニ	<i>Procambarus clarkii</i>	アメリカザリガニ	8	0.075	未成体/成体	—	—	—	17.5	1.5	16	—
				節足動物	軟甲	エビ	ヌマエビ	<i>Neocaridina sp.</i>	カワリヌマエビ属	458	0.090	未成体/成体	—	—	—	8.58	0.78	7.8	—
				軟体動物	腹足	盤足目	カニナ	<i>Semisulcospira libertina</i>	カワニナ	30	0.026	成体	—	軟体部	—	5.8	N. D. (2. 7)	5.8	—
				脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Phoxinus lagowskii steindachneri</i>	アブラハヤ	91	0.19	未成魚/成魚	—	—	—	5.0	N. D. (0. 38)	5.0	—
				脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Opsariichthys platypus</i>	オイカワ	18	0.024	未成魚	—	—	—	3.3	N. D. (2. 3)	3.3	—
				脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Candidia temminckii</i>	カワムツ	5	0.043	未成魚/成魚	—	—	—	14	N. D. (1. 6)	14	—
				脊椎動物	硬骨魚	コイ	ドジョウ	<i>Misgurnus anguillicaudatus</i>	ドジョウ	30	0.11	未成魚/成魚	—	—	—	7.3	N. D. (0. 65)	7.3	—
				脊椎動物	硬骨魚	コイ	ドジョウ	<i>Nemacheilus toni</i>	フクドジョウ	23	0.12	未成魚	—	—	—	3.7	N. D. (0. 67)	3.7	—
				脊椎動物	硬骨魚	サケ	サケ	<i>Oncorhynchus masou</i>	ヤマメ	5	0.066	未成魚	—	—	—	6.8	N. D. (1. 1)	6.8	—
				脊椎動物	頭甲	ヤツメ	ヤツメ	<i>Lethenteron reissneri</i>	スナヤツメ	9	0.017	アンモニテス幼生	—	—	—	20	N. D. (2. 9)	20	—
				脊椎動物	両生	無尾	—	—	カエル類	140	0.070	幼生 (オタマジャクシ)	—	—	—	139.7	9.7	130	—
				脊椎動物	両生	無尾	アマガエル	<i>Hyla japonica</i>	ニホンアマガエル	5	0.021	成体	—	—	—	7.5	N. D. (2. 1)	7.5	—
				脊椎動物	両生	無尾	トノサマガエル	<i>Pelophylax porosus porosus</i>	トウキョウダルマガエル										
				脊椎動物	両生	有尾	イモリ	<i>Cynops pyrrhogaster</i>	アカハライモリ	3	0.030	成体	—	—	—	6.4	N. D. (2. 1)	6.4	—
粗粒状有機物	—	—	—	—	水底落葉等	—	0.21	—	—	—	—	24.1	2.1	22	—				

※1：生物は、当該調査水域またはその周辺で採取したものである。

※2：水生生物を複数採取できた場合は、これらを混合して試料とした。

※3：複数種の混合試料においては、最も多く採取できた優占種を、和名に下線で示した。

※4：生物試料は、全個体を測定することを原則とするが、消化器系に残留した未消化の餌料や底泥等は測定しないよう、内臓（胃、腸）の除去が可能な試料については、除去して測定した。

※5：プランクトン（浮遊藻類）とは、湖沼水または海水を40μmのプランクトンネットで濾した残留物を指す。

※6：河床付着物（藻類を含む）とは、石に付着した藻類をブラシ等で掻き落としたものであるが、無機態のシルト・粘土等の微細粒子が含まれることがある。

※7：N. D. は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

※8：放射性物質濃度の数値には計数誤差等が含まれているが、本報においては記載していない。

地点	採取場所	採取日	門	綱	目	科	学名	和名	個体数	採取重量 (kg-wet)	特記事項			放射性セシウム (Bq/kg-wet)			Sr-90 (Bq/kg-wet)	
											成長段階	消化管内容物	測定部位	計	Cs-134	Cs-137		
B-2	阿武隈川本流	R1. 5. 30	脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Tribolodon hakonensis</i>	ウグイ	12	3.0	成魚	—	—	6.4	1.0	5.4	0.18	
			脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Hemibarbus barbuis</i>	ニゴイ	3	5.0	成魚	不明消化物	内臓除去	8.77	0.57	8.2	0.26	
			脊椎動物	硬骨魚	スズキ	サシイッシュ	<i>Micropterus dolomieu</i>	コクチバス	2	3.5	成魚	空胃	内臓除去	21.9	1.9	20	0.17	
			脊椎動物	硬骨魚	ナマス	アメリカナマス	<i>Ictalurus punctatus</i>	アメリカナマス	1	3.5	成魚	モズガニ	内臓除去	14.2	1.2	13	0.18	
B-3	摺上川	R1. 6. 1	藻類・植物	—	—	—	—	河床付着物 (藻類を含む)	—	0.076	—	—	—	42.6	4.6	38	—	
			藻類・植物	接合藻	ホシトドロ	ホシトドロ	<i>Spirogyra sp.</i>	アオミドロ属	—	0.17	—	—	—	—	10.61	0.81	9.8	—
			藻類・植物	単子葉植物	イハナモ	ヒルムシロ	<i>Potamogeton crispus</i>	エビモ	—	0.21	—	—	—	—	4.3	N.D. (0.37)	4.3	—
			節足動物	昆虫	カゲロウ	モンカゲロウ	<i>Ephemera strigata</i>	モンカゲロウ	95	0.0096	幼虫	—	—	—	11	N.D. (4.1)	11	—
			節足動物	昆虫	トビケラ	ヒゲナガカワトビケラ	<i>Stenopsyche marmorata</i>	ヒゲナガカワトビケラ	237	0.083	幼虫	—	—	—	16.89	0.89	16	—
			節足動物	昆虫	トンボ	エゾトンボ	<i>Macromia amphigena amphigena</i>	コヤマトンボ	52	0.039	幼虫 (ヤゴ)	—	—	—	5.2	N.D. (1.6)	5.2	—
			節足動物	昆虫	トンボ	オニヤンマ	<i>Anotogaster sieboldii</i>	オニヤンマ										
			節足動物	昆虫	トンボ	サナエトンボ	<i>Melligomphus viridicostus</i>	オナガサナエ										
			節足動物	昆虫	トンボ	サナエトンボ	<i>Sieboldius albardae</i>	コオニヤンマ										
			節足動物	昆虫	ヘビトンボ	ヘビトンボ	<i>Protohermes grandis</i>	ヘビトンボ	53	0.047	幼虫	—	—	—	1.6	N.D. (1.3)	1.6	—
			節足動物	軟甲	エビ	アメリカザリガニ	<i>Procambarus clarkii</i>	アメリカザリガニ	7	0.084	未成体/成体	—	—	—	11	N.D. (0.80)	11	—
			軟体動物	腹足	盤足目	カニナ	<i>Semisulcospira libertina</i>	カワニナ	30	0.035	成体	—	—	軟体部	10	N.D. (1.6)	10	—
			脊椎動物	硬骨魚	カサゴ	カシガ	<i>Cottus pollux</i>	カジカ	51	0.48	未成魚	—	—	—	4.3	N.D. (0.44)	4.3	—
			脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Phoxinus lagowskii steindachneri</i>	アブラハヤ	64	0.31	未成魚/成魚	—	—	—	3.4	N.D. (0.38)	3.4	—
			脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Tribolodon hakonensis</i>	ウグイ	9	0.079	未成魚	—	—	—	5.3	N.D. (0.90)	5.3	—
			脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Candidia temminckii</i>	カワムツ	7	0.0097	未成魚	—	—	—	3.4	N.D. (3.5)	3.4	—
			脊椎動物	硬骨魚	コイ	ドジョウ	<i>Misgurnus anguillicaudatus</i>	ドジョウ	42	0.16	未成魚/成魚	—	—	—	5.5	N.D. (0.44)	5.5	—
			脊椎動物	硬骨魚	コイ	ドジョウ	<i>Nemacheilus toni</i>	フクドジョウ	24	0.20	未成魚	—	—	—	4.28	0.38	3.9	—
			脊椎動物	硬骨魚	サケ	サケ	<i>Oncorhynchus masou</i>	ヤマメ	7	0.060	未成魚	—	—	—	4.7	N.D. (1.2)	4.7	—
			脊椎動物	両生	無尾	—	—	カエル類	14	0.018	幼生 (オタマジャクシ)	—	—	—	71.7	5.7	66	—
脊椎動物	両生	無尾	ツチガエル	<i>Glandirana rugosa</i>	ツチガエル	5	0.057	成体	—	—	—	4.2	N.D. (1.1)	4.2	—			
粗粒状有機物	—	—	—	—	—	—	0.28	—	—	—	—	17.2	1.2	16	—			

※1：生物は、当該調査水域またはその周辺で採取したものである。

※2：水生生物を複数採取できた場合は、これらを混合して試料とした。

※3：複数種の混合試料においては、最も多く採取できた優占種を、和名に下線で示した。

※4：生物試料は、全個体を測定することを原則とするが、消化器系に残留した未消化の餌料や底泥等は測定しないよう、内臓（胃、腸）の除去が可能な試料については、除去して測定した。

※5：プランクトン（浮遊藻類）とは、湖沼水または海水を40μmのプランクトンネットで濾した残留物を指す。

※6：河床付着物（藻類を含む）とは、石に付着した藻類をブラシ等で掻き落としたものであるが、無機態のシルト・粘土等の微細粒子が含まれることがある。

※7：N.D.は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

※8：放射性物質濃度の数値には計数誤差等が含まれているが、本報においては記載していない。

地点	採取場所	採取日	門	綱	目	科	学名	和名	個体数	採取重量 (kg-wet)	特記事項			放射性セシウム (Bq/kg-wet)			Sr-90 (Bq/kg-wet)	
											成長段階	消化管内容物	測定部位	計	Cs-134	Cs-137		
宇多川	C-6	宇多川本流	R1.6.2	藻類・植物	—	—	—	河床付着物 (藻類を含む)	—	0.0062	—	—	—	28	N.D. (5.3)	28	—	
				藻類・植物	接合藻	ホシト ^ロ	ホシト ^ロ	<i>Spirogyra sp.</i>	アオミドロ属	—	0.34	—	—	—	8.49	0.69	7.8	—
				節足動物	昆虫	カゲ ^{ロウ}	カカゲ ^{ロウ}	<i>Potamanthus formosus</i>	キイロカワカゲロウ	1504	0.051	幼虫	—	—	19.4	1.4	18	—
				節足動物	昆虫	カゲ ^{ロウ}	フタオカゲ ^{ロウ}	<i>Siphonuridae</i>	フタオカゲロウ属									
				節足動物	昆虫	カゲ ^{ロウ}	モンカゲ ^{ロウ}	<i>Ephemera orientalis</i>	トウヨウモンカゲロウ									
				節足動物	昆虫	カゲ ^{ロウ}	モンカゲ ^{ロウ}	<i>Ephemera japonica</i>	フタスジモンカゲロウ									
				節足動物	昆虫	カゲ ^{ロウ}	モンカゲ ^{ロウ}	<i>Ephemera strigata</i>	モンカゲロウ									
				節足動物	昆虫	トビ ^{ケラ}	ヒゲナガ ^{カワトビケラ}	<i>Stenopsyche marmorata</i>	ヒゲナガカワトビケラ	180	0.0072	幼虫	—	—	70.2	5.2	65	—
				節足動物	昆虫	トンボ ^ゴ	エゾ ^{トンボ}	<i>Macromia amphigena amphigena</i>	コヤマトンボ	74	0.0082	幼虫 (ヤゴ)	—	—	4.4	N.D. (3.8)	4.4	—
				節足動物	昆虫	トンボ ^ゴ	オニヤンマ	<i>Anotogaster sieboldii</i>	オニヤンマ									
				節足動物	昆虫	トンボ ^ゴ	サエトンボ ^ゴ	<i>Stylogomphus suzukii</i>	オジロサナエ									
				節足動物	昆虫	トンボ ^ゴ	サエトンボ ^ゴ	<i>Melligomphus viridicostus</i>	オナガサナエ									
				節足動物	昆虫	トンボ ^ゴ	サエトンボ ^ゴ	<i>Sieboldius albardae</i>	コオニヤンマ									
				節足動物	昆虫	トンボ ^ゴ	サエトンボ ^ゴ	<i>Davidius sp.</i>	ダビドサナエ属									
				節足動物	昆虫	トンボ ^ゴ	サエトンボ ^ゴ	<i>Anisogomphus maacki</i>	ミヤマサナエ									
				節足動物	昆虫	トンボ ^ゴ	サエトンボ ^ゴ	<i>Asiagomphus melaenops</i>	ヤマサナエ									
				節足動物	軟甲	エビ ^ゴ	アメリカサ ^{ザリガニ}	<i>Procambarus clarkii</i>	アメリカザリガニ	4	0.036	成体	—	—	7.2	N.D. (1.7)	7.2	—
				節足動物	軟甲	エビ ^ゴ	ヌカエビ	<i>Paratya improvisa</i>	ヌカエビ	83	0.021	未成体/成体	—	—	5.5	N.D. (2.0)	5.5	—
				節足動物	軟甲	エビ ^ゴ	モクス ^{ガニ}	<i>Eriocheir japonica</i>	モクスガニ	8	0.18	未成体	—	—	6.83	0.53	6.3	—
				脊椎動物	硬骨魚	ウナギ ^ゴ	ウナギ ^ゴ	<i>Anguilla japonica</i>	ニホンウナギ	1	0.29	成魚	モクス ^{ガニ}	内臓除去	9.05	0.65	8.4	—
				脊椎動物	硬骨魚	カサコ ^ゴ	カシ ^ガ	<i>Cottus reinii</i>	ウツセミカジカ	1	0.050	未成魚	クラカケ ^{カラ}	内臓除去	14.1	1.1	13	—
				脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Tribolodon hakonensis</i>	ウグイ	4	0.025	未成魚	—	—	6.1	N.D. (2.6)	6.1	—
				脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Pseudogobio esocinus esocinus</i>	カマツカ	4	0.027	未成魚	—	—	3.7	N.D. (1.7)	3.7	—
				脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Candidia temminckii</i>	カワムツ	5	0.048	未成魚	—	—	9.4	1.1	8.3	—
				脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Carassius auratus</i>	ギンブナ	2	0.048	未成魚	—	—	8.8	N.D. (1.1)	8.8	—
				脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Gnathopogon elongatus elongatus</i>	タモロコ	1	0.0090	成魚	—	—	12	N.D. (4.3)	12	—
				脊椎動物	硬骨魚	コイ	ト ^シ ョウ	<i>Cobitis biwae</i>	シマドジョウ	12	0.027	未成魚/成魚	—	—	3.6	N.D. (2.0)	3.6	—
				脊椎動物	硬骨魚	コイ	ト ^シ ョウ	<i>Misgurnus anguillicaudatus</i>	ドジョウ	4	0.029	未成魚/成魚	—	—	3.2	N.D. (2.1)	3.2	—
				脊椎動物	硬骨魚	サケ	アユ	<i>Plecoglossus altivelis altivelis</i>	アユ	8	0.10	未成魚	—	—	17.2	1.2	16	—
				脊椎動物	硬骨魚	スス ^ギ	ハゼ ^ゴ	<i>Gymnogobius urotaenia</i>	ウキゴリ	12	0.072	未成魚	—	—	11.97	0.97	11	—
				脊椎動物	硬骨魚	スス ^ギ	ハゼ ^ゴ	<i>Rhinogobius fluviatilis</i>	オオヨシノボリ	30	0.090	成魚	—	—	10.30	0.90	9.4	—
				脊椎動物	硬骨魚	スス ^ギ	ハゼ ^ゴ	<i>Rhinogobius nagoyae</i>	シマヨシノボリ									
				脊椎動物	硬骨魚	スス ^ギ	ハゼ ^ゴ	<i>Tridentiger brevispinis</i>	ヌマチチブ	1	0.032	成魚	—	—	9.7	N.D. (1.8)	9.7	—
				脊椎動物	硬骨魚	ナマス ^ゴ	ギ ^ギ	<i>Tachysurus tokiensis</i>	ギバチ	3	0.032	未成魚/成魚	—	—	4.7	N.D. (1.7)	4.7	—
				脊椎動物	頭甲	ヤツメ ^{ナギ}	ヤツメ ^{ナギ}	<i>Lethenteron reissneri</i>	スナヤツメ	3	0.011	アンモニア ^ス 幼生	—	—	3.7	N.D. (3.1)	3.7	—
				脊椎動物	両生	無尾	—	—	カエル類	198	0.12	幼生 (オタマ ^シ ヤクシ)	—	—	84.1	7.1	77	—
				脊椎動物	両生	無尾	アメリカ ^{カガ} エル	<i>Lithobates catesbeianus</i>	ウシガエル	2	0.0048	成体	—	—	7.5	N.D. (6.0)	7.5	—
				脊椎動物	両生	無尾	ツチ ^ガ エル	<i>Glandirana rugosa</i>	ツチガエル									
				粗粒状有機物	—	—	—	—	水底落葉等	—	0.25	—	—	—	14.1	1.1	13	—

※1：生物は、当該調査水域またはその周辺で採取したものである。

※2：水生生物を複数採取できた場合は、これらを混合して試料とした。

※3：複数種の混合試料においては、最も多く採取できた優占種を、和名に下線で示した。

※4：生物試料は、全個体を測定することを原則とするが、消化器系に残留した未消化の餌料や底泥等は測定しないよう、内臓(胃、腸)の除去が可能な試料については、除去して測定した。

※5：プランクトン(浮遊藻類)とは、湖沼水または海水を40μmのプランクトンネットで濾した残留物を指す。

※6：河床付着物(藻類を含む)とは、石に付着した藻類をブラシ等で掻き落としたものであるが、無機態のシルト・粘土等の微細粒子が含まれることがある。

※7：N.D.は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

※8：放射性物質濃度の数値には計数誤差等が含まれているが、本報においては記載していない。

地点	採取場所	採取日	門	綱	目	科	学名	和名	個体数	採取重量 (kg-wet)	特記事項			放射性セシウム (Bq/kg-wet)			Sr-90 (Bq/kg-wet)	
											成長段階	消化管内容物	測定部位	計	Cs-134	Cs-137		
D-3	真野川本流	R1.6.4	節足動物	軟甲	エビ	アメリカザリガニ	<i>Procambarus clarkii</i>	アメリカザリガニ	2	0.023	成体	—	—	8.4	N.D. (2.4)	8.4	—	
			脊椎動物	硬骨魚	ウナギ	ウナギ	<i>Anguilla japonica</i>	ニホンウナギ	1	0.21	未成魚	モスガニ	内臓除去	20.5	1.5	19	—	
			脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Pseudogobio esocinus esocinus</i>	カマツカ	1	0.031	成魚	—	—	5.0	N.D. (2.0)	5.0	—	
			脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Cyprinus carpio</i>	コイ	1	4.5	成魚	不明消化物	内臓除去	6.43	0.43	6.0	0.33	
			脊椎動物	硬骨魚	サケ	アユ	<i>Plecoglossus altivelis altivelis</i>	アユ	3	0.0083	未成魚	—	—	10	N.D. (4.7)	10	—	
			脊椎動物	硬骨魚	スズキ	ハゼ	<i>Gymnogobius urotaenia</i>	ウキゴリ	2	0.029	未成魚	—	—	17	N.D. (2.1)	17	—	
			脊椎動物	硬骨魚	ナマス	キキ	<i>Tachysurus tokiensis</i>	ギバチ	2	0.0062	未成魚	—	—	N.D.	N.D. (5.6)	N.D. (4.8)	—	
			脊椎動物	両生	無尾	—	—	カエル類	33	0.0066	幼生 (オタマシヤクシ)	—	—	203	13	190	—	
			脊椎動物	両生	無尾	アメリカカガエル	<i>Lithobates catesbeianus</i>	ウシガエル	129	2.6	幼生 (オタマシヤクシ)	—	—	62.1	5.1	57	0.076	
真野川 D-4 b	真野川本流	R1.6.5	藻類・植物	—	—	—	—	河床付着物 (藻類を含む)	—	0.010	—	—	—	66.8	5.8	61	—	
			藻類・植物	—	—	—	Bryophyta	コケ植物	—	0.23	—	—	—	—	55.9	3.9	52	—
			藻類・植物	接合藻	ホシトドロ	ホシトドロ	<i>Spirogyra sp.</i>	アオミドロ属	—	0.31	—	—	—	—	6.39	0.49	5.9	—
			節足動物	昆虫	トビケラ	ヒゲナガカトビケラ	<i>Stenopsyche marmorata</i>	ヒゲナガカトビケラ	34	0.0074	幼虫	—	—	—	31	N.D. (5.2)	31	—
			節足動物	昆虫	トンボ	エゾトンボ	<i>Macromia amphigena amphigena</i>	コヤマトンボ	27	0.0076	幼虫 (ヤゴ)	—	—	18	N.D. (4.9)	18	—	
			節足動物	昆虫	トンボ	オニヤンマ	<i>Anotogaster sieboldii</i>	オニヤンマ										
			節足動物	昆虫	トンボ	サナエトンボ	<i>Stylogomphus suzukii</i>	オジロサナエ										
			節足動物	昆虫	トンボ	サナエトンボ	<i>Melligomphus viridicostus</i>	オナガサナエ										
			節足動物	昆虫	トンボ	サナエトンボ	<i>Sieboldius albardae</i>	コオニヤンマ										
			節足動物	昆虫	トンボ	サナエトンボ	<i>Davidius sp.</i>	ダビドサナエ属										
			節足動物	昆虫	トンボ	トンボ	<i>Orthetrum albistylum speciosum</i>	シオカラトンボ										
			節足動物	昆虫	トンボ	ヤンマ	<i>Boyeria maclachlani</i>	コシボソヤンマ										
			節足動物	昆虫	ヘビトンボ	ヘビトンボ	<i>Protohermes grandis</i>	ヘビトンボ	25	0.025	幼虫	—	—	10	N.D. (2.1)	10	—	
			節足動物	軟甲	エビ	アメリカザリガニ	<i>Procambarus clarkii</i>	アメリカザリガニ	2	0.033	成体	—	—	61.2	4.2	57	—	
			節足動物	軟甲	エビ	テナガエビ	<i>Palaemon paucidens</i>	スジエビ	50	0.087	成体	—	—	16.3	1.3	15	—	
			節足動物	軟甲	エビ	ヌマエビ	<i>Paratya improvisa</i>	ヌカエビ	182	0.054	未成体	—	—	16.6	1.6	15	—	
			軟体動物	二枚貝	イシガイ	イシガイ	<i>Inversiunio jokohamensis</i>	ヨコハマシジラガイ	8	0.025	未成体	—	軟体部	32	N.D. (2.4)	32	—	
			軟体動物	腹足	盤足目	カニナ	<i>Semisulcospira libertina</i>	カワニナ	21	0.022	成体	—	軟体部	24	N.D. (2.6)	24	—	
			脊椎動物	硬骨魚	ウナギ	ウナギ	<i>Anguilla japonica</i>	ニホンウナギ	2	0.19	未成魚/成魚	ヘビトンボ	内臓除去	24.6	1.6	23	—	
			脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Phoxinus lagowskii steindachneri</i>	アブラハヤ	27	0.069	未成魚/成魚	—	—	10.8	1.0	9.8	—	
			脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Tribolodon hakonensis</i>	ウグイ	18	0.12	未成魚	—	—	18.7	1.7	17	—	
			脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Opsariichthys platypus</i>	オイカワ	8	0.036	未成魚	—	—	7.0	N.D. (2.2)	7.0	—	
			脊椎動物	硬骨魚	コイ	ドジョウ	<i>Cobitis biwae</i>	シマドジョウ	3	0.0063	成魚	—	—	16	N.D. (5.4)	16	—	
			脊椎動物	硬骨魚	コイ	ドジョウ	<i>Misgurnus anguillicaudatus</i>	ドジョウ	2	0.0087	未成魚	—	—	24	N.D. (4.6)	24	—	
			脊椎動物	硬骨魚	サケ	サケ	<i>Oncorhynchus masou</i>	ヤマメ	5	0.045	未成魚	—	—	11	N.D. (1.3)	11	—	
			脊椎動物	硬骨魚	スズキ	サンフィッシュ	<i>Micropterus dolomieu</i>	コクチバス	4	0.16	未成魚	不明消化物	内臓除去	34.6	2.6	32	—	
			脊椎動物	硬骨魚	スズキ	ハゼ	<i>Rhinogobius fluviatilis</i>	オオヨシノボリ	27	0.097	未成魚/成魚	—	—	29.2	2.2	27	—	
			脊椎動物	硬骨魚	スズキ	ハゼ	<i>Rhinogobius nagoyae</i>	シマヨシノボリ										
			脊椎動物	硬骨魚	スズキ	ハゼ	<i>Tridentiger brevispinis</i>	ヌマチチブ	2	0.024	成魚	—	—	13	N.D. (1.6)	13	—	
			脊椎動物	両生	無尾	—	—	カエル類	72	0.034	幼生 (オタマシヤクシ)	—	—	186	16	170	—	
			脊椎動物	両生	無尾	ツチガエル	<i>Glandirana rugosa</i>	ツチガエル	3	0.0083	成体	—	—	8.1	N.D. (3.9)	8.1	—	
			脊椎動物	両生	有尾	イモリ	<i>Cynops pyrrhogaster</i>	アカハライモリ	2	0.016	成体	—	—	15	N.D. (3.5)	15	—	
粗粒状有機物	—	—	—	—	水底落葉等	—	0.26	—	—	—	22.8	1.8	21	—				
D-5	真野川本流	R1.6.4	脊椎動物	硬骨魚	ウナギ	ウナギ	<i>Anguilla japonica</i>	ニホンウナギ	1	0.20	成魚	ヘビトンボ、ドジョウ	内臓除去	30.1	2.1	28	—	
			脊椎動物	硬骨魚	サケ	サケ	<i>Oncorhynchus masou</i>	ヤマメ	31	0.27	未成魚	—	—	17.1	1.1	16	—	
			脊椎動物	両生	無尾	アメリカカガエル	<i>Lithobates catesbeianus</i>	ウシガエル	1	0.076	成体	—	—	24.1	2.1	22	—	

※1：生物は、当該調査水域またはその周辺で採取したものである。

※2：水生生物を複数採取できた場合は、これらを混合して試料とした。

※3：複数種の混合試料においては、最も多く採取できた優占種を、和名に下線で示した。

※4：生物試料は、全個体を測定することを原則とするが、消化器系に残留した未消化の餌料や底泥等は測定しないよう、内臓(胃、腸)の除去が可能な試料については、除去して測定した。

※5：プランクトン(浮遊藻類)とは、湖沼水または海水を40μmのプランクトンネットで漉した残留物を指す。

※6：河床付着物(藻類を含む)とは、石に付着した藻類をブラシ等で掻き落としたものであるが、無機態のシルト・粘土等の微細粒子が含まれることがある。

※7 : N.D. は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

※8 : 放射性物質濃度の数値には計数誤差等が含まれているが、本報においては記載していない。

地点	採取場所	採取日	門	綱	目	科	学名	和名	個体数	採取重量 (kg-wet)	特記事項			放射性セシウム (Bq/kg-wet)			Sr-90 (Bq/kg-wet)			
											成長段階	消化管内容物	測定部位	計	Cs-134	Cs-137				
新田川	E-2 b	新田川本流	R1.6.3	藻類・植物	—	—	—	河床付着物 (藻類を含む)	—	0.011	—	—	—	294	24	270	—			
				藻類・植物	接合藻	ホシト ^ロ	ホシト ^ロ	<i>Spirogyra sp.</i>	アオミドロ属	—	0.34	—	—	—	33.6	2.6	31	—		
				節足動物	昆虫	カゲ ^{ロウ}	チラカゲ ^{ロウ}	<i>Isonychia valida</i>	チラカゲロウ	345	0.025	幼虫	—	—	—	100.7	6.7	94	—	
				節足動物	昆虫	トビ ^{ケラ}	ヒゲナガ ^{カワトビケラ}	<i>Stenopsyche marmorata</i>	ヒゲナガカワトビケラ	136	0.021	幼虫	—	—	—	99.9	7.9	92	—	
				節足動物	昆虫	トンボ	エツ ^{トンボ}	<i>Macromia amphigena amphigena</i>	コヤマトンボ	16	0.0054	幼虫 (ヤゴ)	—	—	—	128.3	8.3	120	—	
				節足動物	昆虫	トンボ	オニヤンマ	<i>Anotogaster sieboldii</i>	オニヤンマ											
				節足動物	昆虫	トンボ	サエトンボ	<i>Stylogomphus suzukii</i>	オジロサナエ											
				節足動物	昆虫	トンボ	サエトンボ	<i>Sieboldius albardae</i>	コオニヤンマ											
				節足動物	昆虫	トンボ	サエトンボ	<i>Asiagomphus melaenops</i>	ヤマサナエ											
				節足動物	昆虫	ヘビ ^{トンボ}	ヘビ ^{トンボ}	<i>Protohermes grandis</i>	ヘビトンボ	11	0.0062	幼虫	—	—	—	27	N. D. (5.1)	27	—	
				節足動物	軟甲	エビ ^ニ	アメリカサ ^{リガニ}	<i>Procambarus clarkii</i>	アメリカザリガニ	6	0.091	未成体/成体	—	—	—	66.9	4.9	62	—	
				節足動物	軟甲	エビ ^ニ	テナガ ^{エビ}	<i>Palaemon paucidens</i>	スジエビ	43	0.051	成体	—	—	—	31.2	2.2	29	—	
				節足動物	軟甲	エビ ^ニ	ヌマエビ ^ニ	<i>Paratya improvisa</i>	ヌカエビ	107	0.023	未成体/成体	—	—	—	52.1	3.1	49	—	
				節足動物	軟甲	エビ ^ニ	モクス ^{ガニ}	<i>Eriocheir japonica</i>	モクズガニ	6	0.032	未成体	—	—	—	62.2	5.2	57	—	
				軟体動物	腹足	盤足目	カリニ	<i>Semisulcospira libertina</i>	カワニナ	30	0.017	成体	—	—	軟体部	38	N. D. (3.1)	38	—	
				脊椎動物	硬骨魚	ウナギ ^ニ	ウナギ ^ニ	<i>Anguilla japonica</i>	ニホンウナギ	1	0.038	未成魚	—	—	—	31.3	4.3	27	—	
				脊椎動物	硬骨魚	カサコ ^ニ	カサコ ^ニ	<i>Cottus reinii</i>	ウツセミカジカ	4	0.072	未成魚	—	—	—	53.5	3.5	50	—	
				脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Tribolodon hakonensis</i>	ウグイ	59	0.36	未成魚	—	—	—	73.8	4.8	69	—	
				脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Opsariichthys platypus</i>	オイカワ	15	0.011	未成魚	—	—	—	38	N. D. (4.8)	38	—	
				脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Sarcocheilichthys variegatus variegatus</i>	カワヒガイ	2	0.017	未成魚/成魚	—	—	—	41.6	3.6	38	—	
				脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Carassius auratus</i>	ギンブナ	1	0.039	成魚	—	—	—	32.5	2.5	30	—	
				脊椎動物	硬骨魚	コイ	ド ^{ジョウ}	<i>Misgurnus anguillicaudatus</i>	ドジョウ	18	0.042	未成魚/成魚	—	—	—	15	N. D. (1.4)	15	—	
				脊椎動物	硬骨魚	スズ ^キ	ハゼ ^ニ	<i>Rhinogobius fluviatilis</i>	オオヨシノボリ	25	0.095	成魚	—	—	—	36.6	2.6	34	—	
				脊椎動物	硬骨魚	スズ ^キ	ハゼ ^ニ	<i>Rhinogobius nagoyae</i>	シマヨシノボリ											
				脊椎動物	硬骨魚	ナマス ^ニ	ナマス ^ニ	<i>Silurus asotus</i>	ナマズ	3	3.3	成魚	スジ ^{エビ} 、モクス ^{ガニ} 、魚類	内臓除去	—	101.3	7.3	94	0.99	
				脊椎動物	両生	無尾	ア ^{カガエル}	<i>Rana japonica</i>	ニホンアカガエル	4	0.019	成体	—	—	—	22	N. D. (2.8)	22	—	
				脊椎動物	両生	無尾	ツチ ^{ガエル}	<i>Glandirana rugosa</i>	ツチガエル											
				脊椎動物	両生	無尾	アメリカ ^{カガエル}	<i>Lithobates catesbeianus</i>	ウシガエル	6	0.11	幼生 (オタマ ^{ジャクシ})	—	—	—	430	30	400	—	
				粗粒状有機物	—	—	—	—	—	—	0.23	—	—	—	—	193	13	180	—	

※1：生物は、当該調査水域またはその周辺で採取したものである。

※2：水生生物を複数採取できた場合は、これらを混合して試料とした。

※3：複数種の混合試料においては、最も多く採取できた優占種を、和名に下線で示した。

※4：生物試料は、全個体を測定することを原則とするが、消化器系に残留した未消化の餌料や底泥等は測定しないよう、内臓（胃、腸）の除去が可能な試料については、除去して測定した。

※5：プランクトン（浮遊藻類）とは、湖沼水または海水を40μmのプランクトンネットで濾した残留物を指す。

※6：河床付着物（藻類を含む）とは、石に付着した藻類をブラシ等で掻き落としたものであるが、無機態のシルト・粘土等の微細粒子が含まれることがある。

※7：N. D. は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

※8：放射性物質濃度の数値には計数誤差等が含まれているが、本報においては記載していない。

地点	採取場所	採取日	門	綱	目	科	学名	和名	個体数	採取重量 (kg-wet)	特記事項			放射性セシウム (Bq/kg-wet)			Sr-90 (Bq/kg-wet)	
											成長段階	消化管内容物	測定部位	計	Cs-134	Cs-137		
太田川	F-1 太田川本流	R1.6.6	藻類・植物	—	—	—	—	河床付着物（藻類を含む）	—	0.0077	—	—	—	318	28	290	—	
			藻類・植物	—	—	—	Bryophyta	コケ植物	—	0.28	—	—	—	258	18	240	—	
			藻類・植物	接合藻	ホシト ^ロ	ホシト ^ロ	Spirogyra sp.	アオミドロ属	—	0.33	—	—	—	13.0	1.0	12	—	
			節足動物	昆虫	カゲ ^{ロウ}	チラカゲ ^{ロウ}	Isonychia valida	チラカゲロウ	245	0.019	幼虫	—	—	—	172	12	160	—
			節足動物	昆虫	トビ ^{ケラ}	ヒゲナガ ^{カワトビケラ}	Stenopsyche marmorata	ヒゲナガカワトビケラ	74	0.017	幼虫	—	—	—	243	23	220	—
			節足動物	昆虫	トンボ	エゾ ^{トンボ}	Macromia amphigena amphigena	コヤマトンボ	31	0.0096	幼虫（ヤゴ）	—	—	118.9	8.9	110	—	
			節足動物	昆虫	トンボ	オニヤンマ	Anotogaster sieboldii	オニヤンマ										
			節足動物	昆虫	トンボ	サナエトンボ	Melligomphus viridicostus	オナガサナエ										
			節足動物	昆虫	トンボ	サナエトンボ	Davidius sp.	ダビドサナエ属										
			節足動物	昆虫	トンボ	サナエトンボ	Asiagomphus melaenops	ヤマサナエ										
			節足動物	昆虫	トンボ	ヤンマ	Boyeria maclachlani	コシボソヤンマ										
			節足動物	昆虫	ヘビ ^{トンボ}	ヘビ ^{トンボ}	Protohermes grandis	ヘビトンボ	64	0.026	幼虫	—	—	103.3	9.3	94	—	
			節足動物	昆虫	ヘビ ^{トンボ}	ヘビ ^{トンボ}	Parachauliodes japonicus	ヤマトクロスジヘビトンボ										
			節足動物	軟甲	エビ ^目	テナガ ^{エビ}	Palaemon paucidens	スジエビ	44	0.083	成体	—	—	244	14	230	—	
			節足動物	軟甲	エビ ^目	ヌカ ^{エビ}	Paratya improvisa	ヌカエビ	162	0.034	未成体	—	—	333	23	310	—	
			節足動物	軟甲	エビ ^目	モクズ ^{ガニ}	Eriocheir japonica	モクズガニ	11	0.14	未成体	—	—	311	21	290	—	
			軟体動物	腹足	盤足目	カニ ^目	Semisulcospira libertina	カワニナ	30	0.030	成体	—	軟体部	207	17	190	—	
			脊椎動物	硬骨魚	ウナギ ^目	ウナギ ^目	Anguilla japonica	ニホンウナギ	4	0.78	未成魚/成魚	アメリカザリガニ、コオシシ、ヌカエビ、サナエトンボ科、タニガ ^{ワカゲ} ロウ属、マダ ^{ラカゲ} ロウ科	内臓除去	215	15	200	—	
			脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	Tribolodon hakonensis	ウグイ	8	0.063	未成魚	—	—	396	26	370	—	
			脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	Opsariichthys platypus	オイカワ	9	0.011	未成魚	—	—	233	13	220	—	
			脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	Candidia temminckii	カワムツ	8	0.026	未成魚/成魚	—	—	172	12	160	—	
			脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	Carassius auratus	ギンブナ	1	0.031	成魚	不明消化物	内臓除去	310	20	290	—	
			脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	Cyprinus carpio	コイ	1	3.5	成魚	不明消化物	内臓除去	473	33	440	4.4	
			脊椎動物	硬骨魚	コイ	ト ^シ ョウ	Cobitis biwae	シマドジョウ	3	0.0046	成魚	—	—	191	21	170	—	
脊椎動物	硬骨魚	コイ	ト ^シ ョウ	Lefua echigonia	ホトケドジョウ	5	0.0055	未成魚	—	—	92.3	8.3	84	—				
脊椎動物	硬骨魚	スズ ^キ	ハゼ ^目	Rhinogobius fluviatilis	オオヨシノボリ	13	0.065	成魚	—	—	387	27	360	—				
脊椎動物	硬骨魚	スズ ^キ	ハゼ ^目	Rhinogobius nagoyae	シマヨシノボリ													
脊椎動物	頭甲	ヤツメ ^目	ヤツメ ^目	Lethenteron reissneri	スナヤツメ	2	0.0050	アンモニテス幼生	—	—	19	N.D. (6.5)	19	—				
粗粒状有機物	—	—	—	—	水底落葉等	—	0.25	—	—	—	91.6	7.6	84	—				
F-5	太田川本流	R1.6.3	脊椎動物	硬骨魚	ウナギ ^目	ウナギ ^目	Anguilla japonica	ニホンウナギ	2	0.012	未成魚	—	—	46.4	4.4	42	—	
			脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	Carassius auratus	ギンブナ	1	0.016	未成魚	—	—	39.5	2.5	37	—	
			脊椎動物	両生	無尾	—	—	カエル類	775	0.23	幼生（オタマシ ^{ヤクシ} ）	—	—	152	12	140	—	
			脊椎動物	両生	無尾	アメリカ ^{カガ} エル	Lithobates catesbeianus	ウシガエル	14	0.49	幼生（オタマシ ^{ヤクシ} ）	—	—	194	14	180	—	
			脊椎動物	両生	無尾	アメリカ ^{カガ} エル	Lithobates catesbeianus	ウシガエル	7	2.7	成体	—	—	32.7	1.7	31	1.5	

※1：生物は、当該調査水域またはその周辺で採取したものである。

※2：水生生物を複数採取できた場合は、これらを混合して試料とした。

※3：複数種の混合試料においては、最も多く採取できた優占種を、和名に下線で示した。

※4：生物試料は、全個体を測定することを原則とするが、消化器系に残留した未消化の餌料や底泥等は測定しないよう、内臓（胃、腸）の除去が可能な試料については、除去して測定した。

※5：プランクトン（浮遊藻類）とは、湖沼水または海水を40μmのプランクトンネットで漉した残留物を指す。

※6：河床付着物（藻類を含む）とは、石に付着した藻類をブラシ等で掻き落とししたものであるが、無機態のシルト・粘土等の微細粒子が含まれることがある。

※7：N.D.は、not detected（検出下限値未満）を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

※8：放射性物質濃度の数値には計数誤差等が含まれているが、本報においては記載していない。

地点	採取場所	採取日	門	綱	目	科	学名	和名	個体数	採取重量 (kg-wet)	特記事項			放射性セシウム (Bq/kg-wet)			Sr-90 (Bq/kg-wet)	
											成長段階	消化管内容物	測定部位	計	Cs-134	Cs-137		
G-1 G-2 G-3	湖内	R1.6.7	藻類・植物	—	—	—	—	プランクトン (浮遊藻類)	—	0.0094	—	—	—	3.1	N. D. (3.6)	3.1	—	
		R1.6.11	脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Carassius auratus</i>	ギンブナ	1	2.6	成魚	不明消化物	内臓除去	49.2	3.2	46	0.66	
			脊椎動物	硬骨魚	スズキ	サンフィッシュ	<i>Micropterus dolomieu</i>	コクチバス	2	0.57	未成魚/成魚	不明消化物	内臓除去	151	11	140	—	
脊椎動物	硬骨魚	スズキ	サンフィッシュ	<i>Lepomis macrochirus</i>	ブルーギル	17	0.28	未成魚	—	—	—	37.9	2.9	35	—			
は や ま 湖	G-4	流入河川	R1.6.4	藻類・植物	—	—	—	—	河床付着物 (藻類を含む)	—	0.0058	—	—	—	46	N. D. (4.8)	46	—
				節足動物	昆虫	カゲロウ	カカゲロウ	<i>Potamanthus formosus</i>	キイロカワカゲロウ	386	0.010	幼虫	—	—	83.6	6.6	77	—
				節足動物	昆虫	カゲロウ	チラカゲロウ	<i>Isonychia valida</i>	チラカゲロウ									
				節足動物	昆虫	カゲロウ	フタオカゲロウ	<i>Siphonuridae</i>	フタオカゲロウ属									
				節足動物	昆虫	カゲロウ	マダラカゲロウ	<i>Drunella ishiyamana</i>	ヨシノマダラカゲロウ									
				節足動物	昆虫	カゲロウ	モンカゲロウ	<i>Ephemera japonica</i>	フタスジモンカゲロウ									
				節足動物	昆虫	トビケラ	ヒゲナガカワトビケラ	<i>Stenopsyche marmorata</i>	ヒゲナガカワトビケラ	59	0.016	幼虫	—	—	50.6	3.6	47	—
				節足動物	昆虫	トンボ	エゾトンボ	<i>Macromia amphigena amphigena</i>	コヤマトンボ	48	0.012	幼虫 (ヤゴ)	—	—	13	N. D. (2.8)	13	—
				節足動物	昆虫	トンボ	オニヤンマ	<i>Anotogaster sieboldii</i>	オニヤンマ									
				節足動物	昆虫	トンボ	サエトンボ	<i>Nihonogomphus viridis</i>	アオサナエ									
				節足動物	昆虫	トンボ	サエトンボ	<i>Stylogomphus suzukii</i>	オジロサナエ									
				節足動物	昆虫	トンボ	サエトンボ	<i>Sieboldius albardae</i>	コオニヤンマ									
				節足動物	昆虫	トンボ	サエトンボ	<i>Davidius sp.</i>	ダビドサナエ属									
				節足動物	昆虫	トンボ	サエトンボ	<i>Sinogomphus flavolimbatus</i>	ヒメサナエ									
				節足動物	昆虫	トンボ	サエトンボ	<i>Asiagomphus melaenops</i>	ヤマサナエ									
				節足動物	昆虫	トンボ	ヤンマ	<i>Anax parthenope julius</i>	ギンヤンマ									
				節足動物	昆虫	ヘビトンボ	ヘビトンボ	<i>Protohermes grandis</i>	ヘビトンボ									
				節足動物	軟甲	エビ	ヌカエビ	<i>Paratya improvisa</i>	ヌカエビ	108	0.028	未成年	—	—	24	N. D. (2.7)	24	—
				脊椎動物	硬骨魚	ウナギ	ウナギ	<i>Anguilla japonica</i>	ニホンウナギ	1	0.87	成魚	魚類	内臓除去	80.7	5.7	75	0.14
				脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Tribolodon hakonensis</i>	ウグイ	170	1.2	未成年	—	—	23.9	1.9	22	0.24
脊椎動物	硬骨魚	コイ	ドジョウ	<i>Misgurnus anguillicaudatus</i>	ドジョウ	3	0.029	未成年/成魚	—	—	9.6	N. D. (1.6)	9.6	—				
脊椎動物	硬骨魚	サケ	アユ	<i>Plecoglossus altivelis altivelis</i>	アユ	73	0.39	未成年	—	—	49.5	3.5	46	—				
脊椎動物	硬骨魚	サケ	サケ	<i>Oncorhynchus masou</i>	ヤマメ	414	1.5	未成年	—	—	18.4	1.4	17	0.14				
脊椎動物	硬骨魚	スズキ	ハゼ	<i>Rhinogobius flumineus</i>	カワヨシノボリ	24	0.044	未成年	—	—	21.8	1.8	20	—				
粗粒状有機物	—	—	—	—	—	—	—	水底落葉等	—	0.23	—	—	—	53.8	3.8	50	—	

※1：生物は、当該調査水域またはその周辺で採取したものである。

※2：水生生物を複数採取できた場合は、これらを混合して試料とした。

※3：複数種の混合試料においては、最も多く採取できた優占種を、和名に下線で示した。

※4：生物試料は、全個体を測定することを原則とするが、消化器系に残留した未消化の餌料や底泥等は測定しないよう、内臓（胃、腸）の除去が可能な試料については、除去して測定した。

※5：プランクトン（浮遊藻類）とは、湖沼水または海水を40μmのプランクトンネットで漉した残留物を指す。

※6：河床付着物（藻類を含む）とは、石に付着した藻類をブラシ等で掻き落としたものであるが、無機態のシルト・粘土等の微細粒子が含まれることがある。

※7：N. D. は、not detected (検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

※8：放射性物質濃度の数値には計数誤差等が含まれているが、本報においては記載していない。

地点	採取場所	採取日	門	綱	目	科	学名	和名	個体数	採取重量 (kg-wet)	特記事項			放射性セシウム (Bq/kg-wet)			Sr-90 (Bq/kg-wet)
											成長段階	消化管内容物	測定部位	計	Cs-134	Cs-137	
H-1 H-2 H-3	湖内	R1.6.8	藻類・植物	—	—	—	—	プランクトン (浮遊藻類)	—	0.012	—	—	—	N.D.	N.D. (2.7)	N.D. (2.4)	—
		R1.6.19	節足動物	軟甲	エビ	サリガニ	<i>Pacifastacus leniusculus trowbridgii</i>	ウチダザリガニ	20	1.3	成体	—	—	19.5	1.5	18	7.8
			脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Tribolodon hakonensis</i>	ウグイ	15	2.3	成魚	不明消化物	内臓除去	63.5	5.5	58	0.72
			脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Carassius auratus</i>	ギンブナ	2	1.7	成魚	不明消化物	内臓除去	31.9	1.9	30	1.3
			脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Cyprinus carpio</i>	コイ	1	4.2	成魚	不明消化物	内臓除去	19.4	1.4	18	1.1
			脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Hemibarbus barbuis</i>	ニゴイ	2	1.5	成魚	不明消化物	内臓除去	47.0	3.0	44	1.0
			脊椎動物	硬骨魚	サケ	キュウリウオ	<i>Hypomesus nipponensis</i>	ワカサギ	54	0.17	成魚	—	—	2.8	N.D. (0.54)	2.8	—
			脊椎動物	硬骨魚	サケ	サケ	<i>Salvelinus leucomaenis</i>	イワナ	5	0.85	成魚	ワカサギ、スジエビ	内臓除去	25.9	1.9	24	—
			脊椎動物	硬骨魚	サケ	サケ	<i>Oncorhynchus masou masou</i>	サクラマス	3	0.27	未成魚	ワカサギ、アリ、ハチ	内臓除去	12.75	0.75	12	—
			脊椎動物	硬骨魚	スズキ	サンフィッシュ	<i>Micropterus dolomieu</i>	コクチバス	14	3.1	未成魚/成魚	スジエビ、ウチダザリガニ、魚類、モソカゲロウ属	内臓除去	55.5	3.5	52	1.1
H-3	湖内 および 流入河川	R1.6.8	藻類・植物	—	—	—	—	河床付着物 (藻類を含む)	—	0.0052	—	—	30	N.D. (5.5)	30	—	
		R1.6.9	節足動物	昆虫	カゲロウ	マダラカゲロウ	<i>Drunella basalis</i>	オオマダラカゲロウ	384	0.031	幼虫	—	—	5.4	N.D. (1.7)	5.4	—
			節足動物	昆虫	カゲロウ	マダラカゲロウ	<i>Drunella kohnoi</i>	コウノマダラカゲロウ									
			節足動物	昆虫	カゲロウ	マダラカゲロウ	<i>Drunella trispina</i>	ミツトゲマダラカゲロウ									
			節足動物	昆虫	カワゲラ	カワゲラ	<i>Acroneuria sp.</i>	キカワゲラ属	141	0.028	幼虫	—	—	1.6	N.D. (1.9)	1.6	—
			節足動物	昆虫	カワゲラ	カワゲラ	<i>Calineuria sp.</i>	モンカワゲラ属									
			節足動物	昆虫	トビケラ	ヒゲナガカワトビケラ	<i>Stenopsyche marmorata</i>	ヒゲナガカワトビケラ	163	0.059	幼虫	—	—	3.7	N.D. (2.8)	3.7	—
			節足動物	昆虫	ヘビトンボ	ヘビトンボ	<i>Protohermes grandis</i>	ヘビトンボ	14	0.0049	幼虫	—	—	N.D.	N.D. (6.1)	N.D. (5.0)	—
			節足動物	昆虫	ヘビトンボ	ヘビトンボ	<i>Parachauliodes japonicus</i>	ヤマトクロスジヘビトンボ									
			節足動物	軟甲	エビ	テナガエビ	<i>Palaemon paucidens</i>	スジエビ	440	0.17	成体	—	—	9.30	0.80	8.5	—
			脊椎動物	硬骨魚	カジカ	カジカ	<i>Cottus pollux</i>	カジカ	69	0.18	未成魚	—	—	5.1	N.D. (0.53)	5.1	—
			脊椎動物	硬骨魚	スズキ	サンフィッシュ	<i>Micropterus dolomieu</i>	コクチバス	2	0.014	未成魚	—	—	14	N.D. (2.7)	14	—
			脊椎動物	両生	無尾	アマガエル	<i>Buergeria buergeri</i>	カジカガエル	11	0.065	成体	—	—	38.7	2.7	36	—
			脊椎動物	両生	有尾	イモリ	<i>Cynops pyrrhogaster</i>	アカハライモリ	2	0.0088	成体	—	—	4.9	N.D. (3.7)	4.9	—
			粗粒状有機物	—	—	—	—	水底落葉等	—	0.25	—	—	—	29.4	2.4	27	—
H-4	湖内 および 周辺河川	R1.6.9	節足動物	昆虫	トンボ	オニヤンマ	<i>Anotogaster sieboldii</i>	オニヤンマ	14	0.011	幼虫 (ヤゴ)	—	—	7.6	N.D. (3.9)	7.6	—
			節足動物	昆虫	トンボ	トンボ	<i>Sympetrum sp.</i>	アカネ属									
			節足動物	昆虫	トンボ	ヤンマ	<i>Boyeria maclachlani</i>	コシボソヤンマ									
			軟体動物	腹足	盤足目	カニナ	<i>Semisulcospira libertina</i>	カワニナ	30	0.031	成体	—	軟体部	13	N.D. (2.1)	13	—
			脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Phoxinus lagowskii steindachneri</i>	アブラハヤ	44	0.12	未成魚/成魚	—	—	3.8	N.D. (0.69)	3.8	—
			脊椎動物	硬骨魚	コイ	ドジョウ	<i>Lefua echigonia</i>	ホトケドジョウ	16	0.017	未成魚/成魚	—	—	4.2	N.D. (3.1)	4.2	—
			脊椎動物	両生	無尾	—	—	カエル類	130	0.072	幼生 (オタマジャクシ)	—	—	108.6	8.6	100	—
			脊椎動物	両生	無尾	アマガエル	<i>Rana ornativentris</i>	ヤマアカガエル	2	0.024	成体	—	—	6.2	N.D. (2.4)	6.2	—
脊椎動物	両生	有尾	イモリ	<i>Cynops pyrrhogaster</i>	アカハライモリ	2	0.012	成体	—	—	5.6	N.D. (2.7)	5.6	—			

※1：生物は、当該調査水域またはその周辺で採取したものである。

※2：水生生物を複数採取できた場合は、これらを混合して試料とした。

※3：複数種の混合試料においては、最も多く採取できた優占種を、和名に下線で示した。

※4：生物試料は、全個体を測定することを原則とするが、消化器系に残留した未消化の餌料や底泥等は測定しないよう、内臓 (胃、腸) の除去が可能な試料については、除去して測定した。

※5：プランクトン (浮遊藻類) とは、湖沼水または海水を40μmのプランクトンネットで漉した残留物を指す。

※6：河床付着物 (藻類を含む) とは、石に付着した藻類をブラシ等で掻き落とししたものであるが、無機態のシルト・粘土等の微細粒子が含まれることがある。

※7：N.D. は、not detected (検出下限値未満) を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

※8：放射性物質濃度の数値には計数誤差等が含まれているが、本報においては記載していない。

地点	採取場所	採取日	門	綱	目	科	学名	和名	個体数	採取重量 (kg-wet)	特記事項			放射性セシウム (Bq/kg-wet)			Sr-90 (Bq/kg-wet)	
											成長段階	消化管内容物	測定部位	計	Cs-134	Cs-137		
I-1 I-2 (北岸)	湖内 および 長瀬川	R1. 7. 2	脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Carassius auratus</i>	ギンプナ	6	1. 9	成魚	不明消化物	内臓除去	24. 3	2. 3	22	0. 49	
			脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Hemibarbus barbuis</i>	ニゴイ	1	1. 6	成魚	不明消化物	内臓除去	24. 2	1. 2	23	0. 59	
			脊椎動物	硬骨魚	サケ	サケ	<i>Oncorhynchus mykiss</i>	ニジマス	1	0. 95	成魚	スジエビ	内臓除去	19. 8	1. 8	18	0. 13	
			脊椎動物	硬骨魚	スズキ	タイワンドジョウ	<i>Channa argus</i>	カムルチー	2	1. 9	未成魚	スジエビ	内臓除去	17. 94	0. 94	17	0. 41	
			脊椎動物	硬骨魚	ナマズ	ナマズ	<i>Silurus asotus</i>	ナマズ	1	1. 2	成魚	カエル類、魚類	内臓除去	11. 63	0. 63	11	0. 20	
		R1. 6. 8	粗粒状有機物	—	—	—	—	水底落葉等	—	—	0. 25	—	—	—	18. 5	1. 5	17	—
J-1 (南岸)	湖内 および 鬼沼周辺	R1. 6. 8	藻類・植物	—	—	—	—	プランクトン (浮遊藻類)	—	—	0. 0087	—	—	—	N. D.	N. D. (3. 6)	N. D. (3. 2)	—
			藻類・植物	双子葉植物	スイレン	スイレン	<i>Nuphar japonicum</i>	コウホネ	—	—	0. 32	—	—	—	0. 45	N. D. (0. 30)	0. 45	—
			藻類・植物	双子葉植物	ナス	ミツガシラ	<i>Nymphoides peltata</i>	アサザ	—	—	0. 33	—	—	—	0. 78	N. D. (0. 27)	0. 78	—
			節足動物	昆虫	トンボ	オニヤンマ	<i>Anotogaster sieboldii</i>	オニヤンマ	9	0. 013	幼虫 (ヤゴ)	—	—	—	2. 8	N. D. (2. 6)	2. 8	—
			節足動物	軟甲	エビ	テナガエビ	<i>Palaemon paucidens</i>	スジエビ	1768	1. 3	成体	—	—	—	8. 02	0. 42	7. 6	0. 67
			軟体動物	腹足	原始紐舌	タニシ	<i>Cipangopaludina japonica</i>	オオタニシ	28	0. 18	未成体/成体	—	—	軟体部	4. 1	N. D. (0. 47)	4. 1	—
			軟体動物	腹足	原始紐舌	タニシ	<i>Cipangopaludina chinensis laeta</i>	マルタニシ	9	0. 018	未成体/成体	—	—	軟体部	7. 8	N. D. (2. 8)	7. 8	—
			軟体動物	腹足	盤足目	カワニナ	<i>Semisulcospira libertina</i>	カワニナ	30	0. 0097	成体	—	—	軟体部	N. D.	N. D. (4. 6)	N. D. (3. 7)	—
		R1. 7. 2	脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Tribolodon hakonensis</i>	ウグイ	2	0. 037	未成魚	—	—	—	11	N. D. (1. 4)	11	—
			脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Opsariichthys platypus</i>	オイカワ	13	0. 18	未成魚	—	—	—	6. 2	N. D. (0. 45)	6. 2	—
		R1. 6. 8	脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Carassius auratus</i>	ギンプナ	61	0. 013	未成魚	—	—	—	5. 8	N. D. (4. 2)	5. 8	—
		R1. 7. 2	脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Carassius auratus</i>	ギンプナ	30	2. 3	成魚	不明消化物	内臓除去	25. 6	1. 6	24	0. 42	
		R1. 6. 8	脊椎動物	硬骨魚	コイ	ドジョウ	<i>Misgurnus anguillicaudatus</i>	ドジョウ	48	0. 10	未成魚/成魚	—	—	—	1. 1	N. D. (0. 59)	1. 1	—
		R1. 7. 2	脊椎動物	硬骨魚	スズキ	サンフィッシュ	<i>Micropterus dolomieu</i>	コクチバス	6	1. 7	未成魚/成魚	スジエビ	内臓除去	33. 1	2. 1	31	0. 42	
			脊椎動物	硬骨魚	スズキ	サンフィッシュ	<i>Lepomis macrochirus</i>	ブルーギル	3	0. 076	未成魚	エビ類	内臓除去	7. 5	N. D. (0. 85)	7. 5	—	
R1. 6. 8	脊椎動物	両生	無尾	アカガエル	<i>Rana japonica</i>	ニホンアカガエル	19	0. 22	成体	—	—	—	2. 5	N. D. (0. 50)	2. 5	—		
	脊椎動物	両生	無尾	ツチガエル	<i>Glandirana rugosa</i>	ツチガエル												
	脊椎動物	両生	有尾	イモリ	<i>Cynops pyrrhogaster</i>	アカハライモリ	11	0. 056	成体	—	—	—	1. 5	N. D. (1. 6)	1. 5	—		

※1：生物は、当該調査水域またはその周辺で採取したものである。

※2：水生生物を複数採取できた場合は、これらを混合して試料とした。

※3：複数種の混合試料においては、最も多く採取できた優占種を、和名に下線で示した。

※4：生物試料は、全個体を測定することを原則とするが、消化器系に残留した未消化の餌料や底泥等は測定しないよう、内臓（胃、腸）の除去が可能な試料については、除去して測定した。

※5：プランクトン（浮遊藻類）とは、湖沼水または海水を40μmのプランクトンネットで漉した残留物を指す。

※6：河床付着物（藻類を含む）とは、石に付着した藻類をブラシ等で掻き落としたものであるが、無機態のシルト・粘土等の微細粒子が含まれることがある。

※7：N. D. は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

※8：放射性物質濃度の数値には計数誤差等が含まれているが、本報においては記載していない。

地点	採取場所	採取日	門	綱	目	科	学名	和名	個体数	採取重量 (kg-wet)	特記事項			放射性セシウム (Bq/kg-wet)			Sr-90 (Bq/kg-wet)	
											成長段階	消化管内容物	測定部位	計	Cs-134	Cs-137		
阿武隈川河口沖	阿武隈川河口 周辺海域	R1. 6. 7	脊椎動物	硬骨魚	カサコ	フサカサコ	<i>Sebastes cheni</i>	シロメバル	2	0.29	未成魚	エビ類	内臓除去	N. D.	N. D. (0.47)	N. D. (0.45)	—	
			脊椎動物	硬骨魚	スズキ	スズキ	<i>Lateolabrax japonicus</i>	スズキ	1	0.97	未成魚	空胃	内臓除去	0.58	N. D. (0.28)	0.58	—	
			脊椎動物	硬骨魚	スズキ	タイ	<i>Acanthopagrus schlegelii</i>	クロダイ	1	1.3	成魚	空胃	内臓除去	0.55	N. D. (0.29)	0.55	0.062	
			脊椎動物	硬骨魚	スズキ	メバル	<i>Sebastes schlegelii</i>	クロソイ	1	1.4	成魚	空胃	内臓除去	0.29	N. D. (0.32)	0.29	—	
相馬市沖	L-1 L-2 L-3 松川浦	R1. 6. 19	藻類・植物	—	—	—	—	プランクトン (浮遊藻類)	—	0.0086	—	—	—	5.2	N. D. (4.9)	5.2	—	
			藻類・植物	緑藻	アオサ	アオサ	<i>Ulva pertusa</i>	アナアオサ	—	0.25	—	—	—	—	1.3	N. D. (0.36)	1.3	—
			環形動物	多毛	イメ	ギボシイメ	<i>Lumbrineridae</i>	ギボシイメ科	383	0.35	未成体/成体	—	—	—	4.4	N. D. (0.37)	4.4	—
			環形動物	多毛	サシハゴカイ	ゴカイ	<i>Hediste sp.</i>	カワゴカイ属										
			環形動物	多毛	スビオ	ミズヒキゴカイ	<i>Cirratulida</i>	ミズヒキゴカイ科										
			節足動物	軟甲	エビ	テッポウエビ	<i>Alpheidae</i>	テッポウエビ科	25	0.028	未成体	—	—	—	1.5	N. D. (1.5)	1.5	—
			節足動物	軟甲	エビ	テナカエビ	<i>Palaemon macrodactylus</i>	ユビナガスジエビ	94	0.045	未成体/成体	—	—	—	N. D.	N. D. (0.89)	N. D. (0.92)	—
			節足動物	軟甲	エビ	モクスガニ	<i>Hemigrapsus sp.</i>	イソガニ属	158	0.18	未成体	—	—	—	2.0	N. D. (0.66)	2.0	—
			軟体動物	二枚貝	マルスターガイ	マルスターガイ	<i>Ruditapes philippinarum</i>	アサリ	129	0.16	未成体/成体	—	—	軟体部	1.1	N. D. (0.49)	1.1	—
			脊椎動物	硬骨魚	スズキ	ニシキソボ	<i>Pholis crassispina</i>	タケギソボ	24	0.046	未成魚/成魚	—	—	—	1.0	N. D. (1.2)	1.0	—
			脊椎動物	硬骨魚	スズキ	ハゼ	<i>Tridentiger trionocephalus</i>	アカオビシマハゼ	94	0.16	未成魚	—	—	—	0.94	N. D. (0.40)	0.94	—
			脊椎動物	硬骨魚	スズキ	ハゼ	<i>Acentrogobius virgatus</i>	スジハゼ										
			脊椎動物	硬骨魚	スズキ	ハゼ	<i>Gobiidae</i>	ハゼ科										
			脊椎動物	硬骨魚	スズキ	ハゼ	<i>Favonigobius gymnauchen</i>	ヒメハゼ										
			脊椎動物	硬骨魚	スズキ	ハゼ	<i>Luciogobius guttatus</i>	ミミズハゼ										
脊椎動物	硬骨魚	スズキ	ボラ	<i>Mugil cephalus cephalus</i>	ボラ	653	0.85	未成魚	—	—	—	1.2	N. D. (0.93)	1.2	N. D. (0.020)			
脊椎動物	硬骨魚	フグ	フグ	<i>Takifugu niphobles</i>	クサフグ	2	0.21	成魚	ゴカイ類	内臓除去	—	1.0	N. D. (0.65)	1.0	—			
いわき市沖	M-4	久之浜沿岸	R1. 7. 4	脊椎動物	硬骨魚	カサコ	フサカサコ	<i>Sebastes cheni</i>	シロメバル	40	1.5	未成魚	—	—	1.0	N. D. (0.41)	1.0	N. D. (0.014)
				脊椎動物	硬骨魚	フグ	フグ	<i>Takifugu poecilonotus</i>	コモンフグ	9	0.073	未成魚	—	—	0.88	N. D. (0.97)	0.88	—

※1：生物は、当該調査水域またはその周辺で採取したものである。

※2：水生生物を複数採取できた場合は、これらを混合して試料とした。

※3：複数種の混合試料においては、最も多く採取できた優占種を、和名に下線で示した。

※4：生物試料は、全個体を測定することを原則とするが、消化器系に残留した未消化の餌料や底泥等は測定しないよう、内臓（胃、腸）の除去が可能な試料については、除去して測定した。

※5：プランクトン（浮遊藻類）とは、湖沼水または海水を40μmのプランクトンネットで漉した残留物を指す。

※6：河床付着物（藻類を含む）とは、石に付着した藻類をブラシ等で掻き落としたものであるが、無機態のシルト・粘土等の微細粒子が含まれることがある。

※7：N. D. は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

※8：放射性物質濃度の数値には計数誤差等が含まれているが、本報においては記載していない。